



浦添市陸上競技場実施設計

- (1) 浦添市陸上競技場基本設計からの変更点について
 - ①既存浦添市陸上競技場の現状と改善点 【再掲】
 - ②浦添市陸上競技場基本設計の考え方 【一部再掲】
 - ③基本設計からの変更点
- (2) 実施設計図とイメージCG

1. 既存浦添市陸上競技場の現状と改善点【再掲】



浦添市



1-1. 既存浦添市陸上競技場の概要

	概要	備考
施設名	ANA FIELD浦添	
施設供用年	昭和59年（令和6年3月時点：築約39年）	
公認競技場の区分	第3種公認（加盟団体等の対抗競技会等）	
延べ床面積	約26,000㎡（内メインスタンド：約900㎡、サブスタンド：約6,600㎡、トラック：約10,000㎡、フィールド：約8,500㎡）	
施設詳細	トラック：8レーン・400m、全天候ウレタン舗装 各種助走路：全天候ウレタン舗装	
観客席・収容人数	メインスタンド：約1,800人 サブスタンド：約4,500人　計：約6,300人	
諸室 （メインスタンド内）	事務室、会議室、休憩室、医務室、放送室、湯沸室、 備品庫、更衣室、シャワー室、役員控室、選手控室、 ボイラー室、ポンプ室、器具庫、便所	
構造	鉄筋コンクリート造 （メインスタンド・サブスタンド共に）	

1. 既存浦添市陸上競技場の現状と改善点【再掲】



浦添市



1-1. 既存浦添市陸上競技場の概要

	概要	備考
諸室面積 (メインスタンド下階)	事務室：約45㎡（浦添市スポーツ協会が使用） 会議室：約55㎡ 休憩室：約10㎡ 医務室：約22㎡ 放送室：約22㎡ 湯沸室：約12㎡ 備品庫：約9㎡ 更衣室：約56㎡（男子・女子共に、約28㎡） シャワー室：約54㎡（男子・女子共に、約27㎡） 役員控室：約114㎡ 選手控室：約240㎡（左側約103㎡、右側約137㎡） ボイラー室：約27㎡ 受水槽：約34㎡ 器具庫：約166㎡（左側約110㎡、右側約56㎡） 便所：約89㎡（左側約34㎡、中央約21㎡、右側約34㎡） 身障者用便所：約17㎡	老朽化により、会議室、シャワー室、ボイラー室等には使用できない状況
諸室面積 (メインスタンド内)	便所：約55㎡（左側約32㎡、右側約23㎡） 身障者用便所：約10㎡	
屋外便所面積	便所：約112㎡（左側約56㎡、右側約56㎡）	

1. 既存浦添市陸上競技場の現状と改善点【再掲】



浦添市



1-2. 既存浦添市陸上競技場の利用状況

第3種公認競技場が必要となる 陸上競技大会	利用状況	備考
沖縄県民体育大会	平成30年度実績 選手人数：約640人 観客者数：約600人（2日間合計） 競技種目：男子20種目 女子12種目 （100m、200m、400m、800m、 1500m、3000m、5000m、10000m、 100mH、110mH、400mH、3000m SC、4×100mR、4×400mR、走高跳、 棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤 投、やり投、ハンマー）	5地区の持ち回り 開催（本市では5 年に一度開催）
那覇地区中体連	令和4年度実績 選手人数：約1,100人 観客者数：約900人 競技種目：男子12種目 女子10種目 （100m、200m、800m、1500m、 3000m、100mH、110mH、4×100m R、走幅跳、走高跳、ジャベリックス ロー、棒高跳、砲丸投）	令和6年度以降は 開催なし

1. 既存浦添市陸上競技場の現状と改善点【再掲】

1-2. 既存浦添市陸上競技場の利用状況

その他	利用状況	備考
浦添市自治会対抗陸上競技大会	令和2年度実績 選手人数：約1,200人 観客者数：約500人 競技種目：男子12種目 女子9種目 (100m、400m、800m、1500m、 3000m（女子のみ）、5000m、 4×100mR、走高跳、走幅跳、三段跳、 砲丸投、円盤投、やり投)	
少年サッカー大会	令和4年度実績 利用人数：約500人	JA共済新人浦添 地区大会
グラウンドゴルフ大会	令和4年度実績 利用人数：約300人	浦添市老人クラ ブ連合会
ウォーキング等	令和4年度実績 日利用人数：約200人/日 年間利用人数：約75,000人	平日・土日の仕 分け記録無し
その他	令和4年度実績 てだこナイトラン：約500人 陸上記録会：約50人	

1. 既存浦添市陸上競技場の現状と改善点【再掲】



浦添市



1-3. 既存浦添市陸上競技場の改善点

主な改善点（今後改善を要する事項）		現状	備考
①	メインスタンドの減築に伴う観客席の拡充	新市民体育館整備により、メインスタンドは約1,800席の内約1,600席が無くなる状況	
②	第3種公認競技場として継続認定の取得の有無	トラック舗装等の老朽化により、第3種公認の競技の開催が困難な状況	
③	メインスタンド内の諸室及び設備の更新	老朽化の雨漏り等により、事務室等が使用できない状況	
④	サブスタンドの機能の確保及び拡充	根の成長に伴う地表面の乱れや3段構造による面積不足等で、テント設営や観客席を確保できない状況	
⑤	トラック利用に係る運営管理の向上	陸上競技場を管理する柵やゲートが乏しく、維持管理が困難な状況	
⑥	倉庫の機能の確保及び拡充	器具の保管場所として床面積が少なく、高さが足りない状況	
⑦	サッカーコート公式規格の確保	フィールド内の雨水マンホール等により、公式規格を確保できない状況	少年サッカーは可能
⑧	フィールド内芝生の維持管理の向上	多目的に使用されるため、維持管理が困難な状況	

2-1. 陸上競技場基本設計の条件の整理

①施設整備の計画理念

陸上競技場の基本設計は、R5.10月に策定した浦添運動公園再整備基本構想・基本計画で定めた運動公園再整備の将来像や再整備の方針、ゾーン別整備方針、施設別整備方針に基づき、計画するものとします。以下、将来像等を示す。

【目指すべき将来像】

スポーツ・健康づくりを通じた交流、学びと遊びを備えた賑わいを創出する新たな市民の運動公園

～市民をはじめ、全ての利用者が自然に親しみ憩いと、運動を通じた人々の交流、賑わいと地域の活性化を創出する運動公園を目指す！～

【再整備の方針】

方針1：まちなかにある立地や自然・地形を活かし、スポーツを中心に多様な利用に対応できる運動公園・施設の整備

方針2：誰もが安全・安心に利用しやすい運動公園・施設の整備

方針3：質の高いサービスを持続的に提供できる管理運営の推進

方針4：運動公園を拠点にスポーツを通じた活力あるまちづくりの推進

方針5：段階的な整備による着実な実施

2. 浦添市陸上競技場基本設計の考え方【再掲】

2-1. 陸上競技場基本設計の条件の整理

【ゾーニング・動線計画】

浦添運動公園再整備基本構想・基本計画

6 ゾーニング・動線計画【6-3 動線計画】

① 動線の考え方

通常時の動線

- 歩行者動線は、各施設にスムーズに移動できるゆとりある空間を確保するとともに、車両動線と重なる部分は安全に歩行できるように配慮します。
- 陸上競技場や市民球場の周囲はウォーキングやランニングコースとして利用されており、自然を感じながら歩行・ランニングできる空間整備を行います。
- 高低差を活かし自然や景色の変化を感じることができる歩行空間を確保します。

災害時の動線

- 災害時に、エントランスゾーン及び市道側の憩いゾーンから緊急車両が進入できる空間を確保します。
- 災害時の一時避難場所となる陸上競技場、市民球場等までの経路について安全に移動できる空間を確保します。

デザインイメージ案



① ゆとりある歩行空間の確保



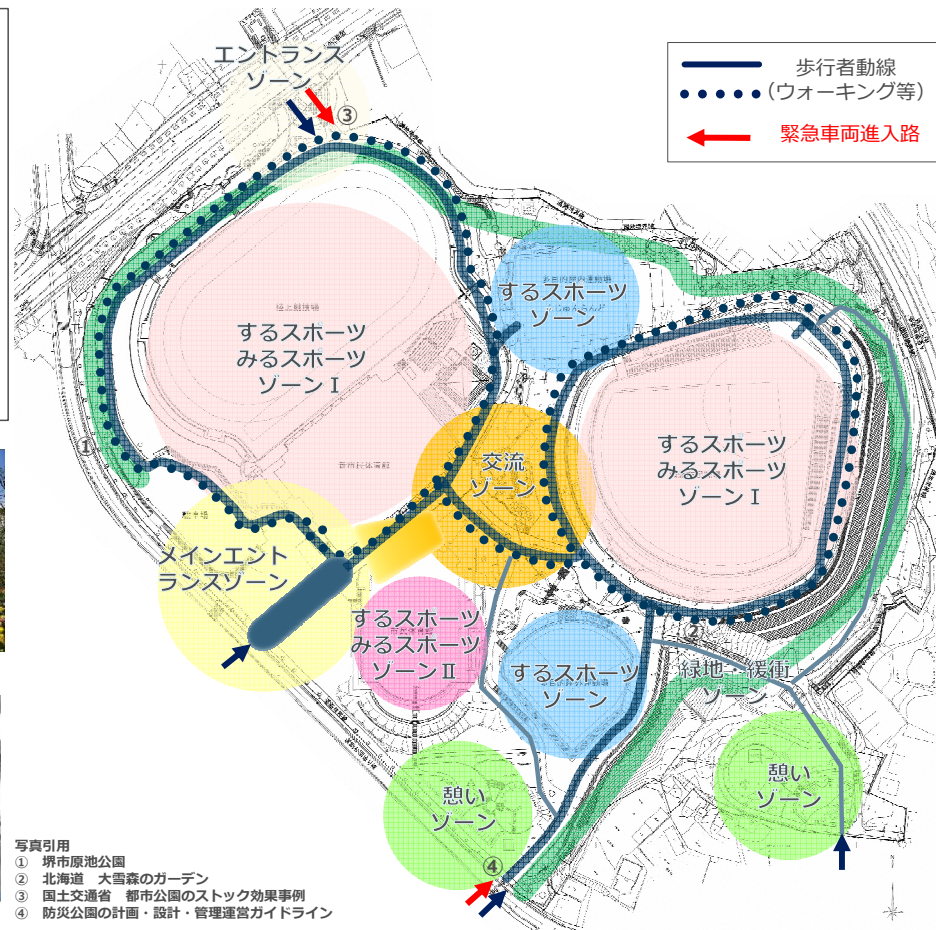
② 自然を感じながら歩行・ランニングできる空間



③ 高低差を活かし自然や景色の変化を感じる歩行空間



④ 緊急車両が進入できる空間を確保



写真引用

- ① 堺市原池公園
- ② 北海道 大雪森のガーデン
- ③ 国土交通省 都市公園のストック効果事例
- ④ 防災公園の計画・設計・管理運営ガイドライン

2. 浦添市陸上競技場基本設計の考え方【再掲】



2-1. 陸上競技場基本設計の条件の整理

【ゾーン別・テーマ別整備の方針】

浦添運動公園再整備基本構想・基本計画

6 ゾーニング・動線計画【6-4 ゾーン別・テーマ別整備の方針】



① するスポーツ・みるスポーツゾーンⅠの整備方針

ゾーンの整備目標

市民等の競技スポーツや健康増進のためのスポーツ・運動利用に加えて、トップアスリートの競技等の観戦が可能で新たなスポーツ・観光の交流拠点に資するゾーン

ゾーン内の構成要素

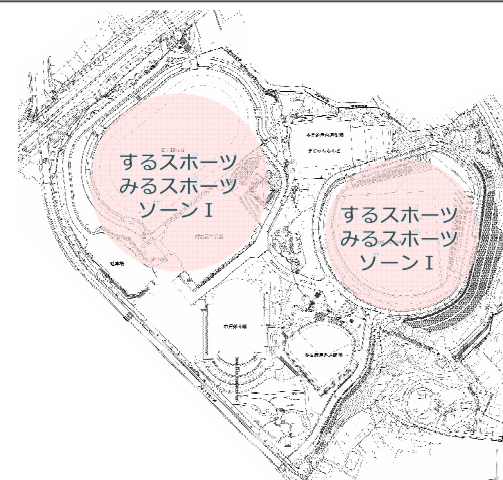
陸上競技場、新市民体育館、相撲場、市民球場

ゾーン内で想定される利用・使用形態

- ・ 陸上競技場：陸上競技、ジョギング、散歩、サッカー、ラグビー、グラウンドゴルフ、プロスポーツ等の春季キャンプ、てだこまつり等
- ・ 新市民体育館：ハンドボール、バスケットボール、バレーボール、フットサル、バドミントン、卓球、プロスポーツ等の試合・大会、eスポーツ、コンサート、MICE等
- ・ 相撲場：相撲
- ・ 市民球場：野球、ソフトボール、プロスポーツ等のキャンプ等

ゾーン内の課題

- ・ まちなかにある立地や特徴的な地形等を活かした、「利用者の利用目的・形態に応じた利用空間の整備」「グリーンインフラとしての利活用」「人と人とのつながり、リアルな交流を生み出す場の整備」
- ・ 安全・安心で誰もが利用しやすく楽しめる、「老朽・陳腐化した施設・設備の魅力向上・機能強化」「観るスポーツの楽しみ方の提供」
- ・ 公園・運動施設の持続可能な管理運営、「公園・運動施設・設備の適切な維持管理・更新」「民間活力等による財源の効率化」「収益確保による財政の負担軽減」
- ・ スポーツを通じて活力あるまちづくり、「上位・関連計画や施策と連携した再整備計画」「市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園づくり」「スポーツコンベンションの推進」「プロスポーツの実施、スポーツキャンプ地の誘致」



ゾーン整備の方針

- ▲ ゾーン内の運動施設・園路は、子どもや高齢者、障がい者をはじめ、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによる整備
- ゾーン内の緑地の適切な配置及び維持管理
- 市民、県民、観光客、軍属等が移動しやすく、利用しやすい案内表示やICTを活用した交流イベント等の情報発信の整備
- ▲ 利用頻度が高く、人と人とのつながりやリアルな交流を創出させる運動施設や空間の魅力向上と機能強化
- ▲ ■ プロスポーツが実施できる施設整備とスポーツ観戦等が楽しめる環境整備
- ▲ 災害時に市民等が安全・安心に避難できるよう現地対策本部や自衛隊活動拠点等の役割を担う等、災害対策・復旧活動の核となる防災機能を確保
- ◆ PPP/PFIを活用し、利用者の利便性を高めると共に、興行による地域の賑わい創出や地域経済の活性化につながる適切な施設の運営・管理
- 景観まちづくり計画やティータスファ緑の基本計画等を踏まえ、トップアスリートの競技等の観戦の魅力向上に資する良好な景観の形成
- スポーツコンベンションの推進に寄与する運動施設整備
- ★ 陸上競技場・相撲場は先行する新市民体育館整備と連携して整備に取り組み、他運動施設は長寿命化計画等と照らし合わせながら計画・整備に取り込む

ゾーン整備の方針は、●再整備の方針1、▲再整備の方針2、◆再整備の方針3、■再整備の方針4、★再整備の方針5に対応する（以下、他ゾーンも同様）

2. 浦添市陸上競技場基本設計の考え方【再掲】



2-1. 陸上競技場基本設計の条件の整理

【ゾーン別・テーマ別整備の方針】

浦添運動公園再整備基本構想・基本計画

6 ゾーニング・動線計画【6-4 ゾーン別・テーマ別整備の方針】



⑨防災に関する整備方針

防災に関する課題

浦添市地域防災計画等と連携した公園・運動施設の防災機能の維持・向上

防災に関する整備方針

地域防災計画より運動公園は、災害時の広域避難場所に位置付けており、求められる当該機能の維持・向上と今後に予定される地域防災計画の見直しと連携した整備を図る。
災害時に防災機能を有するグリーンインフラ

⑩環境に関する整備方針

環境に関する課題

カーボンニュートラルの実現に資する、園内や周辺の住環境に配慮した環境整備の推進

環境に関する整備方針

園内の緑地や水辺空間の維持・保全と、運動施設等への再生可能エネルギーの導入など、園内外の環境に配慮した整備を図る。
生物多様性の保全等に貢献するグリーンインフラ

⑪景観に関する整備方針

景観に関する課題

- ・ 新市民体育館整備に伴う景観の変容への対応
- ・ 浦添の風土やみどりの骨格を形成する周辺の自然景観の維持・保全

景観に関する整備方針

丘陵地と周辺の緑地等の景観資源を活かしつつ、公園利用者が自然を感じながら、海への眺望を楽しむなど、ゆつくりと過ごすことができる良好な自然景観の維持・保全

⑫新技術・DXに関する整備方針

新技術・DXに関する課題

デジタル技術やデータの利活用など、新技術の導入による利用者サービスの向上

新技術・DXに関する整備方針

公園管理者の現場のニーズと新技術の開発者側のシーズがマッチングするものの検討や関係機関からの情報提供など、利用者サービスの向上に資する新技術の導入を図る。

⑬維持管理運営に関する整備方針

維持管理運営に関する課題

- ・ 公園・施設・設備の適切かつ持続可能な維持管理・更新
- ・ 公園の付加価値や維持管理・更新費用の低減を図るため、民間活力の導入

維持管理運営に関する整備方針

持続可能な公園・運動施設の適切な運営・管理手法の見直し
民間活力の導入による公園・運動施設の管理・運営の検討

⑭まちづくりに関する方針

まちづくりに関する課題

- ・ 公園全体の魅力向上を図り、スポーツ・健康づくり等による活力あるまちづくり
- ・ 市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園（オープンスペース）づくり

まちづくりに関する方針

まちなかという立地特性を活かし、周辺の施設や住民、事業者、行政等が連携を図りながら、スポーツを通じて多様な交流・賑わいを創出させ、周辺にも波及させていくまちづくり
バス停やモノレール駅、周辺施設等と連携した公園までのアクセス性を高めるサイン計画の検討

2. 浦添市陸上競技場基本設計の考え方【再掲】



2-1. 陸上競技場基本設計の条件の整理

【陸上競技場施設整備の方針】

浦添運動公園再整備基本構想・基本計画

6 ゾーニング・動線計画【6-5 施設別整備の方針】



① するスポーツ・みるスポーツゾーンⅠの施設整備 ①-1 陸上競技場【短期的な取組】

ゾーンの整備目標

市民等の競技スポーツや健康増進のためのスポーツ・運動利用に加えて、トップアスリートの競技等の観戦が可能で新たなスポーツ・観光の交流拠点に資するゾーン

陸上競技場で想定される利用・使用形態

陸上競技、ジョギング、散歩、サッカー、ラグビー、グラウンドゴルフ、プロ野球球団・プロサッカーチーム等の春季キャンプ、てだこまつり等



陸上競技場の課題

- ・ 老朽化・陳腐化した施設で、新市民体育館整備に伴い、メイン・サブスタンドの一部解体やフィールドトラックが工事車両により乱されるため、機能更新が必要。
- ・ サッカーの試合や大会を開催するにはフィールドが手狭で、かつ、プロサッカーチーム等の春季キャンプの誘致ができない状況。
- ・ 夜間照明の照度が不足しており、夜間の利用が困難となっている状況。
- ・ 1日中自由に利用できる形態のために施設管理が困難となっている。一方で、利用度は高く、利用者も使い勝手がいい形態であるため、施設管理と利用で相反する状況。
- ・ 倉庫や諸室は老朽化や手狭のため、一部使用されておらず、また備品も保管できない状況。
- ・ 各競技やてだこまつり等の興行後のフィールド内芝生の維持管理が困難な状況。
- ・ サブスタンドは植栽の根が張り、座りにくく、テント設営も困難で観戦がしづらい状況。
- ・ バリアフリーの整備が不十分な箇所があるなど、ユニバーサルデザインの導入が必要。
- ・ 再整備後の適切な維持管理・運営を行うため、施設利用料金の改定が必要。

他市町村の陸上競技場の状況

- ・ プロ野球球団に加え、プロサッカーチーム等も誘致するなど、スポーツコンベンションを推進。
- ・ プロスポーツの利用に合わせた芝生等の維持管理。
- ・ メインスタンド一部に屋根の設置、車いす利用者の観戦スペースやエレベーター、トイレを設けるなど、ユニバーサルデザインを適用。
- ・ 競技場への入退場を一か所の出入口に集約し、事務室より管理。
- ・ 多目的な競技用の備品を適切に保管する倉庫。
- ・ サブスタンドの芝生化
- ・ 適切な維持管理等を見据えた施設利用料金

陸上競技場の整備方針

- 子どもや高齢者等をはじめ、誰もが利用しやすく、車いす利用者に配慮した施設整備など、ユニバーサルデザインの導入
- 全ての人々が移動しやすく、利用しやすい案内表示やICTを活用した交流イベント等の情報発信の整備
- ▲ 人と人とのつながりやリアルな交流を創出させるフィールドトラックやスタンドの機能強化と魅力向上
- 多目的なスポーツの実施が可能で、プロスポーツ等のキャンプを誘致できる施設整備とスポーツ観戦等が楽しめる環境整備
- ▲ サブスタンドの空間が有効活用できる再整備及び植栽の適切な再配置と維持管理計画
- ▲ 災害時は一時避難場所や自衛隊活動拠点として災害対策活動の拠点となる防災機能を確保
- ◆ PPP/PFIを活用し、利用者の利便性を高めると共に、地域の賑わい創出や地域経済の活性化につながる適切な施設の運営・管理
- トップアスリートのキャンプ等の魅力向上に資すると共に、周辺景観と調和を図る良好な景観の形成
- ★ 新市民体育館の整備と連携し市民等が利用しやすく、プロスポーツのキャンプ等も誘致できる施設整備に取り組む

施設別整備の方針は、●再整備の方針1、▲再整備の方針2、◆再整備の方針3、■再整備の方針4、★再整備の方針5に対応する（以下、他施設も同様）

2. 浦添市陸上競技場基本設計の考え方【再掲】



2-1. 陸上競技場基本設計の条件の整理

【陸上競技場施設整備の方針】

浦添運動公園再整備基本構想・基本計画

6 ゾーニング・動線計画【6-5 施設別整備の方針】



① するスポーツ・みるスポーツゾーンⅠの施設整備 ①-1 陸上競技場【短期的な取組】

デザインイメージ案

プロスポーツ等のキャンプを誘致できる施設整備

- ・ 快適にスポーツ観戦等を楽しめるメインスタンドの整備や、プロスポーツキャンプ等が誘致可能なフィールド整備等を行います。



メインスタンド
(金武町陸上競技場)



サッカーキャンプなど多目的な利用
出典：スポーツコミッション沖縄HP

誰もが利用しやすいユニバーサルデザインを導入した施設整備

- ・ 障がい者や外国人等あらゆる利用者が快適にスポーツや健康づくりに参加できるように、車いす用のスロープや観覧スペースを設けるなど、ユニバーサルデザインを導入した施設整備を行います。



車いす用スロープ
(浦添カルチャーパーク)



車いす利用者観覧スペース
出典：高齢者、障がい者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準

地域の賑わい創出や地域経済の活性化につながる適切な施設の運営・管理

- ・ 陸上競技場と新市民体育館の一体的な利用等により多様なスポーツの実施やスポーツ観戦が楽しめる施設の運営・管理を行います。
- ・ 災害時の市民等の安全・安心確保の一助となる防災倉庫等の整備を行います。



陸上競技場と体育館の一体的な利用
(田辺スポーツパーク 陸上競技場)
出典：田辺スポーツパークパンフレット



防災倉庫
(大阪府堺市 原池公園)

緑地の適切な再配置及び維持管理や周辺と調和した良好な景観形成

- ・ 自然を身近に感じながらスポーツや健康づくりができる緑地の再配置や維持管理を行い、併設する新市民体育館や周辺の緑地と調和した景観を形成します。



緑地の適切な配置
(豊見城市陸上競技場)



自然を感じスポーツや健康
づくりができる緑地空間
(南風原町陸上競技場)



2-1. 陸上競技場基本設計の条件の整理

②陸上競技場の周辺環境

□道路との関係

- ・既存の陸上競技場は、浦添運動公園内の北西に位置し、その延長上には園路をはさんで、国道330号に面している。また、西南の延長上には園路をはさみ、市道運動公園通り線に面する。
- ・当該園路は公園内の立体駐車場に入庫する出入口であり、緊急車両等の出入口にもなる。
- ・陸上競技場の南東には公園の中央園路に面している。

□敷地周辺状況

- ・運動公園の地形は、南東から北西の方向に傾斜しており、最大で約40mの高低差がある。北西に位置する陸上競技場は公園内で最も地形が低い。
- ・北東には閑静な住宅街である浦添ハイツとまじゅんらんど、南には立体駐車場がある。
- ・陸上競技場の南東のメインスタンドは、その面積の約2/3を解体し、新しく市民体育館が設置する。

□設備周辺環境

- ・電力：まじゅんらんどに隣接するポンプ室兼電気室から引き込む。
- ・通信：東南に新市民体育館整備に伴い、新たに整備する受電室から引き込む。
- ・給水：メインゲート付近の公道から引き込み。その後各施設の受水槽へ供給。
- ・排水：公園内に埋設されている既設下水道本管へ接続。
- ・ガス：プロパン等のLPガスで計画（計画地である仲間地区は都市ガス区域外）。



2-1. 陸上競技場基本設計の条件の整理

③陸上競技場への導入機能

□公認競技場の区分

- ・本基本設計では、既存陸上競技場が那覇地区で唯一の第3種公認競技場であったことや関係機関との協議等を踏まえ、日本陸上競技連盟の公認制度に基づく第3種公認競技場の基準に則り計画する。

□観客席（メインスタンド、サブスタンド）

- ・既存メインスタンドは、その面積の約2/3を解体し、観客席数約1,800席の内約1,600席を減じるため、機能の回復・向上の観点から、メインスタンドを北西の位置に変更する。
- ・既存メインスタンドで残存する約1/3の部分は、リノベーション（改修）を計画する。
- ・全体観客数は、メインスタンド及び芝生席により同等以上の席を確保する。
なお、メインスタンドは、新市民体育館の地下1階に整備する陸上競技場用観客席と残存するメインスタンドの席数を考慮して、既存席数の同等以上を確保するように計画する。
- ・メインスタンドには、雨や日射から守る安定した観戦環境を目指し、大屋根を計画する。
- ・サブスタンドは、前述の改善点を踏まえ、利用しやすい形態・構造となるよう計画する。

□フィールド

- ・第3種公認競技場としての投てき場等を設置できると共に、これまで、てだこ祭りのメイン会場として活用されていたことも踏まえながら、芝整備について計画する。
- ・前述の改善点を踏まえ、サッカーコートの公式規格を確保できるように計画する。また、浦添市の新たなスポーツ・観光の交流拠点施設として、プロサッカーキャンプ等の誘致を実現できるように計画する。

2-1. 陸上競技場基本設計の条件の整理

③陸上競技場への導入機能

□諸室

- ・新市民体育館の地下2階に陸上競技場用に整備する室（会議室、医務室、便所、器具庫、備蓄倉庫）を踏まえ、陸上競技大会やサッカーキャンプ等で必要となる諸室（大会控室、選手控室、更衣室、便所、器具庫等）をメインスタンドの下階に計画する。

□外構及び園路

- ・既存陸上競技場は、いつでも、どこからでも入場できるために維持管理が困難な状況であることから、利用者の利便性や管理面に留意しながら、各ゲートを計画する。
- ・トラックを利用しなくても、ジョギングやウォーキングができるように陸上競技場周囲の園路について改修・整備を計画する。
- ・陸上競技場には、一部住宅街に隣接することや車両通行が比較的多い国道330号に近接することから、その緩衝帯の役割を担う植栽帯を設けている。
このため、植栽帯の設置については、環境・景観や維持管理に留意しながら計画する。

□その他

- ・陸上競技場の再整備（観客席、トラック、外構等）は、誰もが利用しやすい施設となるよう、ユニバーサルデザインにより計画する。
- ・本公園は広域避難場所に位置付けられるなか、陸上競技場は、被災者の一時避難場所、自衛隊の活動拠点、支援物資荷捌き及び保管場所、仮設住宅等の防災機能を求められているため、その機能を確保するように計画する。
- ・現状の夜間利用を考慮し、適切な照度を確保できる夜間照明設備を計画する。

2. 浦添市陸上競技場基本設計の考え方【再掲】



浦添市



2-1. 陸上競技場基本設計の条件の整理

④県内の公認陸上競技場		
種別	競技場の名称	
第1種公認	沖縄県総合運動公園陸上競技場	
第2種公認	沖縄市陸上競技場：中部地区（R1）	
第3種公認	名護市陸上競技場：北部地区（H27）	糸満市西崎陸上競技場：南部地区（H28, R4）
	石垣市中央運動公園陸上競技場：先島地区（H29）	浦添市陸上競技場：那覇地区（H30）
	宮古島市陸上競技場：先島地区（R5）	沖縄県総合運動公園補助競技場
	国頭陸上競技場	金武町陸上競技場
第4種公認	名城大学多目的グラウンド	
その他	豊見城総合公園陸上競技場	南城市陸上競技場
	西原町民陸上競技場	奥武山陸上競技場
	東風平運動公園陸上競技場（八重瀬町）	Agreフィールド北谷
	嘉手納町陸上競技場	ごさまる陸上競技場（中城村）
	黄金森公園陸上競技場（南風原町）	読谷村陸上競技場
	赤間運動場（恩納村）	今帰仁村総合運動公園村民運動場
	本部町運動公園	
※公認の有効期間は5ヵ年である。 ※（）は沖縄県民体育大会の開催時期、那覇・南部・中部・北部・先島の5地区での持ち回り開催である。		

2. 浦添市陸上競技場基本設計の考え方【再掲】

2-1. 陸上競技場基本設計の条件の整理

⑤公認陸上競技場の種類（陸上競技ルールブック2023年度版）						
		第1種	第2種	第3種	第4種	第4種ライト
1 週の距離		400m	400m	400m	400m	200m、250m、300m、400m
距離の交差		+ 1/10,000以内	+ 1/10,000以内	+ 1/10,000以内	+ 各40mm以内	+ 各40mm以内
走路	直走路	1レーンの幅は1m 220で8レーン又は9レーンとする。長さ115m以上	1レーンの幅は1m 220で8レーン又は9レーンとする。長さ115m以上	1レーンの幅は1m 220で8レーンとする。長さ115m以上	1レーンの幅は1m 220で6レーンとする。長さ115m以上	1レーンの幅は1m 220で6レーンとする。長さ115m以上
	曲走路	1レーンの幅は1m 220で8レーン又は9レーンとする。	1レーンの幅は1m 220で8レーン又は9レーンとする。	1レーンの幅は1m 220で6レーンとする。	1レーンの幅は1m 220で4レーンとする。	1レーンの幅は1m 220で4レーンとする。
障害物競走設備		必要	必要	無くても可	無くても可	無くても可
補助競走場		全天候舗装 400m第3種公認陸上競技場	全天候舗装の 競技場があることが望ましい	無くても可	無くても可	無くても可
跳躍場		仕様・細則に示す数 ・走高跳,走幅跳3以上いずれかのゾーンに2 ・棒高跳6以上	仕様・細則に示す数 ・走高跳,走幅跳3以上いずれかのゾーンに2 ・棒高跳4以上	細則に示す数 ・走高跳,走幅跳1以上 ・棒高跳1以上	細則に示す数 ・走高跳,走幅跳1以上 ・棒高跳1以上	細則に,走幅跳示す数 ・走高跳1以上 ・棒高跳1以上
投てき場		仕様・細則に示す数 ・砲丸1以上 ・円盤,ハンマー,やり投げ2	仕様・細則に示す数 ・砲丸1以上 ・円盤,ハンマー,やり投げ2	細則に示す数 ・全種目1以上	細則に示す数 ・全種目1以上	細則に示す数 ・全種目1以上
		ただし、円盤投とハンマー投サークルは兼用してよい				

※第4種ライトの跳躍場、投てき場は、走高跳、走幅跳、砲丸投施設以外の施設を欠くことができる。設置する施設は4種に規定された施設とする。ただし、施設を欠いた競技場では欠いた施設を設置することは出来ない。

2. 浦添市陸上競技場基本設計の考え方【再掲】

2-1. 陸上競技場基本設計の条件の整理

	第1種	第2種	第3種	第4種	第4種ライト
収容人員	15,000人以上 (芝生席含む)	5,000人以上 (芝生席含む)	相当数	相当数	相当数
更衣室	300人以上収容し 得ること	100人以上収容し 得ること	利用できる設備が あることが望まし い	無くても可	無くても可
トレーニング場	第1種公認競技場ではウエイト・トレーニング場を必要とする。				
雨天走路	メインカバックス タンド側にあるこ とが必要。 舗装材は競技場と 同一にする	設備することが望 ましい	無くても可	無くても可	無くても可
トラックとフィー ルドの舗装材	全天候舗装の施設 を要する	全天候舗装の施設 を要する	全天候舗装の施設 を要する	土質でも可	土質でも可
インフィールド	天然芝・投てき実 施可能な人工芝と する	天然芝・投てき実 施可能な人工芝と する	天然芝・投てき実 施可能な人工芝と する	天然芝・投てき実 施可能な人工芝・ 土質とする	天然芝・投てき実 施可能な人工芝・ 土質とする
電気機器等の配管	設備を要する	設備を要する	設備があることが 望ましい	無くても可	無くても可
用器具庫	2カ所以上で合計 500㎡以上必要	第2種～第4種Lではそれぞれの種別に示す用器具を収納できるようにする			
浴場又は シャワー室	男女各2カ所以上	男女各2カ所以上	利用できる設備が あることが望まし い	無くても可	無くても可

2. 浦添市陸上競技場基本設計の考え方【再掲】

2-1. 陸上競技場基本設計の条件の整理

	第1種	第2種	第3種	第4種	第4種ライト
競技場の 撒排水設備	降雨直後の使用が 可能なこと砂場、 芝生等の管理に 必要な数	降雨直後の使用が 可能なこと砂場、 芝生等の管理に 必要な数	降雨直後の使用が 可能なこと砂場、 芝生等の管理に 必要な数	無くても可	無くても可
競技場と場外との 境界	競技場の荒廃毀損 を防ぎ競技会の際 の混雑を防止し得 る程度の堅牢な境 界が必要	競技場の荒廃毀損 を防ぎ競技会の際 の混雑を防止し得 る程度の堅牢な境 界が必要	無くても可	無くても可	無くても可
観覧席とトラック との間の境界	観覧席からみだり に競技場内に入出 りできないように 設備する	観覧席からみだり に競技場内に入出 りできないように 設備する	無くても可	無くても可	無くても可
競技場にて開催で きる競技会の種別 の標準	本連盟が主催する 日本陸上競技選手 権大会、国民体育 大会等の全国規模 競技会及び国際的 競技会	加盟団体等が主催 する選手権大会及 び主要な競技会並 びに本連盟が承認 し主催する競技会	加盟団体等が主催 する競技会	加盟団体等が主催 する競技会・記録 会	加盟団体等が主催 する記録会、加入団 体等の競技会・記 録会

注：天然芝に人工芝を埋め込んだものを使用する場合は混入率5%以下とする。

※県内の陸上競技における県大会や九州大会は、主に第2種公認競技場以上で開催されている。

2-2. 新陸上競技場の計画規模

※令和6年2月時点版

□全体

- ・必要な施設規模の設定にあたっては、既存陸上競技場は、第3種公認競技場であり、かつ、これまでの陸上競技大会等の実績（選手数、観客者数等）を踏まえても、その規模及び面積は概ね十分であったこと、また、今後、本市で開催される陸上競技大会は主に県民大会を想定していること、プロサッカー等の春季キャンプの誘致を考慮して計画する。これにより、現状の規模及び面積に基づき、収容人員の設定、単位空間（一人当たり面積）、必要な備品の占有面積を考慮すると共に、春季キャンプの誘致に必要となる施設整備にも留意しながら、平面的な配置により計画する。

- 現状の規模及び面積を基本に、大会等の利用人数×単位空間（一人当たり面積）
→活動空間面積の算出及び確認
- 施設の利用形態より必要な備品数→占有面積の算出及び確認
- 施設面積の目安→活動空間面積＋占有面積
- 平面配置→上記＋通路・空間、備品の配置等を計画及び算出



計画規模の設定

2. 浦添市陸上競技場基本設計の考え方 【実施設計より変更】



浦添市



②浦添市陸上競技場基本・実施設計の考え方(新陸上競技場の計画規模)

※令和6年12月時点版

□観客席

- ・既存陸上競技場は、メインスタンドで約1,800人、サブスタンドで約4,500人を収容し、合計で約6,300人を収容できる。現状の陸上競技大会等や今後の利活用も考慮しても、概ね十分な規模と考えられるため、新陸上競技場の観客席数も同等以上で計画する。ただし、メインスタンドの観客席数は、新市民体育館の陸上競技場用の観客席や残存するメインスタンドの改修による観客席数を踏まえて計画する

基本設計

- 新陸上競技場のメインスタンドの観客席は、約1,500席を計画する。
(新市民体育館陸上競技場用観客席約240席、残存メインスタンド観客席約500席)
観客席の単位空間×約1,500席＋車いす席スペース＋通路・コンコース（幅×延長）
＋便所（身障者用も含む）



実施設計

- 陸上競技場のメインスタンドの観客席は、約1,400席を計画する。
(新市民体育館陸上競技場用観客席約230席、残存メインスタンド観客席約368席)
観客席の単位空間×約1,400席＋車いす席スペース＋通路・コンコース（幅×延長）
＋便所（身障者用も含む）

2. 浦添市陸上競技場基本設計の考え方 【実施設計より変更】



浦添市



②浦添市陸上競技場基本・実施設計の考え方(新陸上競技場の計画規模)

※令和6年12月時点版

基本設計

- 陸上競技場のサブスタンドは、約4,080人の観客者を収容できると共に、大型テント（3.55m×7.06m）を約50張を設置できるように計画する。
（約2,220人と約4,080人の合計は約6,300人）
観客席の単位空間×約4,800人＋車いす席スペース＋通路・コンコース（幅×延長）



実施設計

- 陸上競技場のサブスタンドは、**約4,350人**の観客者を収容できる。
（約1,998人と約4,350人の合計は約6,300人）
観客席の単位空間×**約4,800人**＋車いす席スペース＋通路・コンコース（幅×延長）
※大型テントの設置数は、芝スタンドの勾配によって変動します。
現在、勾配について検討中のため、具体的な設置数は算出できていないところです。

2. 浦添市陸上競技場基本設計の考え方【再掲】



浦添市



②浦添市陸上競技場基本・実施設計の考え方(新陸上競技場の計画規模)

※令和6年12月時点版

□トラック及びフィールド

- ・トラックは、前述のとおり、現状の8レーンを確保することが必須となる。
また、アウトフィールドの競技（走幅跳、三段跳、棒高跳）、水壕（障害地）の面積も確保して計画する。なお、メインスタンドの位置変更に伴い、大会本部や100m競争の位置が変更となるため、トラックの形状変更も計画する。

●400m×8レーン（レーン幅1.22m）＋走幅跳兼三段跳スペース＋棒高跳スペース＋水壕＋余幅



約8,860㎡で計画

- ・フィールドは、インフィールドの競技（走高跳、投てき）の面積を確保すると共に、サッカーコート公式規格と余幅を加えて計画する。
また、現存する雨水マンホールの位置の変更を計画する。

●走高跳スペース＋投てきスペース＋サッカーコート（105m×68m）＋余幅



約10,580㎡で計画

2. 浦添市陸上競技場基本設計の考え方【実施設計より変更】



浦添市



②浦添市陸上競技場基本・実施設計の考え方(新陸上競技場の計画規模)

※令和6年12月時点版

□諸室

- ・必要な諸室規模の設定にあたっては、これまでの既存陸上競技場の諸室と新市民体育館の地下2階に整備される陸上競技場用の諸室を踏まえると共に、近年、県内で整備された陸上競技場（読谷村・金武町）を参考に、今後、本市で開催を想定される陸上競技大会やサッカー大会等と、プロサッカー等の春季キャンプの誘致に必要な諸室及び機能を考慮して計画する。
- ・なお、浦添運動公園及び運動施設、まじゅんらんどは、公民連携の手法の一つである「指定管理者制度」より、民間事業者が管理運営を担っている。
- ・このため、新陸上競技場は、引き続き、民間事業者が管理運営を実施するものとして、新市民体育館の諸室との機能及び役割の分担を図りながら、諸室の配置を計画する。

※（読谷村）メインスタンド1,014席＋身障者用観覧席6席
（金武町）メインスタンド 342席＋身障者用観覧席4席

	既存陸上 競技場	読谷村・ 金武町	新市民 体育館	基本設計	実施設計	備考
事務室	約45㎡	(読) 約44㎡ (金) —	約52㎡	—	—	
会議室	約55㎡	(読) 約47㎡ (金) 約66㎡	約105㎡	約99㎡	約124㎡	新陸上競技場は審判役員 室・会議室兼用
器具庫	約166㎡	(読) 約192 ㎡ (金) 約42㎡	約162㎡	約93㎡	約158㎡	読谷の倉庫は5カ所に設置 最大の倉庫は約91㎡ 金武はメインスタンドの 隣地に約252㎡の倉庫を整 備
備蓄倉庫	—	—	約100㎡	—		

2. 浦添市陸上競技場基本設計の考え方 【実施設計より変更】



浦添市



②浦添市陸上競技場基本・実施設計の考え方(新陸上競技場の計画規模)

※令和6年12月時点版

□諸室

	既存陸上 競技場	読谷村・ 金武町	新市民 体育館	基本設計	実施設計	備考
放送室	約22m ²	(読) 約16 m ² (金) 約 10m ²	—	約99m ²	約64m ²	新陸上競技場は記録室・ 放送室兼用
記録室	—	(読) — (金) 約19 m ²	—	約99m ²	約64m ²	新陸上競技場は記録室・ 放送室兼用
休憩室	約10m ²	(読) 約16 m ² (金) 約 10m ²	—	—	—	
湯沸室	約12m ²	(読) 事務室 内約5m ² (金) 約6m ²	事務室内 約25m ²	約8m ²	—	
備品庫	約9m ²	(読) 約9m ² (金) —	—	約15m ²	—	読谷は資料庫
更衣室	約56m ² 男子約28m ² 女子約28m ²	(読) 男子約30m ² 女子約30m ² (金) 男子約31m ² 女子約31m ²	—	男子約36m ² 女子約36m ²	更衣室A 約44m ² 更衣室B 約44m ²	

2. 浦添市陸上競技場基本設計の考え方【実施設計より変更】



浦添市



②浦添市陸上競技場基本・実施設計の考え方(新陸上競技場の計画規模)

※令和6年12月時点版

□諸室

	既存陸上 競技場	読谷村・ 金武町	新市民 体育館	基本設計	実施設計	備考
医務室	約22㎡	(読) 約18㎡ (金) 約10㎡	約17㎡	—	新体育館と兼用	金武は会議室内に医務 スペースを確保
便所 (メインスタ ンド下階)	約89㎡ 男子約18㎡×2 女子約16㎡×2 男子約12㎡ 女子約9㎡	(読) 男子約25㎡ 女子約25㎡ (金) 男子約20㎡ 女子約20㎡	メインスタ ンドとして 約240席 男子約44㎡ 女子約54㎡	メインスタ ンドは1,500席 男子約42㎡ 女子約42㎡	1階 メインスタンド 男子約38㎡ 女子約38㎡	【新陸上競技場】 メインスタンド1階 男子便所：小便器6個 大便器3個 洗面器4台 女子便所：大便器7個 洗面器4台
便所 (メインスタ ンド内)	約55㎡ 男子約16㎡ 女子約16㎡ 男子約11㎡ 女子約11㎡	(読) 男子約26㎡ 女子約26㎡ (金) 男子約20㎡ 女子約21㎡	—	男子約21㎡ 約16㎡ 女子約21㎡ 約13㎡	2階 メインスタンド 男子約62㎡ 女子約61㎡	メインスタンド2階 男子便所：小便器11個 大便器6個 洗面器6台 女子便所：大便器8個 洗面器6台
多目的便所 (メインスタ ンド下階)	約17㎡ 男子約8㎡ 女子約8㎡	(読) 約8㎡ (金) 約6㎡	約12㎡	男子約7㎡ 女子約7㎡	1階 メインスタンド 7㎡	
多目的便所 (メインスタ ンド内)	約10㎡ 男子約5㎡ 女子約5㎡	(読) 約8㎡ (金) 約6㎡	—	男子約7㎡ 女子約7㎡	2階 メインスタンド 6㎡×2	

2. 浦添市陸上競技場基本設計の考え方【実施設計より変更】



浦添市



②浦添市陸上競技場基本・実施設計の考え方(新陸上競技場の計画規模)

※令和6年12月時点版

□諸室

	既存陸上 競技場	読谷村・ 金武町	新市民 体育館	基本設計	実施設計	備考
シャワー 室	約54m ² 男子約27m ² ×1 女子約27m ² ×1	(読) 男子約6m ² ×1 女子約6m ² ×1 (金) 男子約6m ² ×1 女子約6m ² ×1	—	男子約24 m ² ×1 女子約24 m ² ×1	男女共 シャワーユニット 2か所 車いす使用者用 シャワーユニット 1か所	シャワーは男女共に 3基 ※読谷は男女共に2基 金武は男女共に3基
役員控室	約114m ²	(読) ピロ ティ 約221m ² (金) 会議 室兼約66m ²	—	約40m ²	約124m ²	
選手控室	約240m ²	(読) 会議 室兼 約47m ² (金) 会議 室兼約66m ²	—	約288m ²	316m ²	
ピロティ	役員選手控 室兼 約354m ²	(読) 約221 m ² (金) 約 31m ²	—	約328m ²	—	大会本部

2. 浦添市陸上競技場基本設計の考え方【実施設計より変更】



浦添市



②浦添市陸上競技場基本・実施設計の考え方(新陸上競技場の計画規模)

※令和6年12月時点版

	既存陸上競技場	読谷村・金武町	新市民体育館	基本設計	実施設計	備考
ボイラー室	約27㎡	—	—	男女共約10㎡	—	
受水槽	約34㎡	—	—	約47㎡	—	
雨水ピット	—	(読) 約60㎡ (金) 約 ㎡ ※確認中	—	約1,200㎡	約263㎡	グラウンド散水水槽 雨水貯留水槽、消火水槽
屋外便所	約52㎡ サブスタンドに 2カ所 男子約26㎡×2 女子約26㎡×2	(読・金) 共に 陸上競技場内に なし	—	陸上競技場内 になし	陸上競技場内 になし	

□外構及び園路

- ・外構は、概ね既存陸上競技場と同規模で計画する。
- ・そのなかで、新陸上競技場周囲の外周園路は、ジョギングやウォーキング等で快適に、かつ、安全・安心に利用できるように計画する。

②浦添市陸上競技場基本・実施設計の考え方(新陸上競技場の施設計画)

※令和6年12月時点版

- ☐ **メインスタンド大屋根**
 - ・鉄骨造のフレームを組み、耐火性の膜屋根をかける計画とする。
- ☐ **トラック**
 - ・全天候型舗装で計画する。
- ☐ **フィールド内の芝**
 - ・人工芝と天然芝を比較検討した結果、経済性（イニシャル・ランニング）や利用者の安全性（天然芝に比べて硬く、滑ったり転倒したりした場合のケガの恐れなど）の面から天然芝で計画する。
- ☐ **夜間照明設備**
 - ・既存夜間照明は経年劣化により照度が不足しているため、運動・競技に必要な照度を確保するよう計画する。
- ☐ **身障者用駐車場**
 - ・メインスタンドに隣接して5台分のスペースを計画する。
- ☐ **外周園路**
 - ・陸上競技場周囲の園路を再整備し、利用しやすい仕様（幅員の確保、ゴムチップ舗装等）となるよう計画する。
- ☐ **植栽**
 - ・陸上競技場内の既存落葉樹が維持管理に影響を与えているため縮小を行い、その他の常緑樹は必要に応じて植樹や再配置を行うなど、公園景観に配慮した計画とする。

3. 基本設計からの変更点



3-1. 県内の陸上競技場の先進事例



かいぎんフィールド国頭（国頭陸上競技場）（H19.4供用開始）



- ①かいぎんフィールド国頭
第3種公認の陸上競技場
天然芝(105m×70m)
雨天時利用可能なウォーミングアップスペース



金武町陸上競技場（H24供用開始）



- ②金武町陸上競技場
天然芝(105m×76m)
観覧席全体に膜屋根
ウォーミングアップスペース



タピック県総ひやごんスタジアム（沖縄県総合運動公園陸上競技場）
（S62.3供用開始 H27.2改修）



- ③タピック県総ひやごんスタジアム
県内唯一の第1種公認の陸上競技場
天然芝(105m×68m)
多種多様な観覧席を設け、中央観客席に屋根。
記者席(電源確保)や貴賓室
雨天時利用可能なウォーミングアップスペース

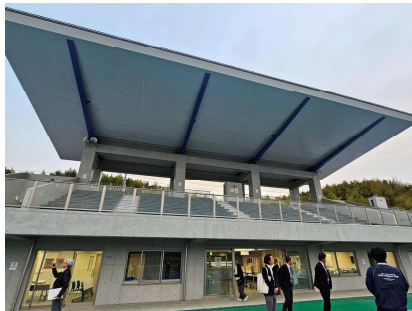
- ・メインスタンドの大屋根設置に関して膜屋根と金属屋根
- ・フィールド内に関して天然芝事例（自動散水・手動散水）
- ・陸上競技他(サッカー・ラグビー) サッカー競技の場合
コーナー人工芝敷き
- ・器具庫及び倉庫の適切な規模



3-2. 県外の陸上競技場の先進事例



愛知県知多郡美浜町運動公園陸上競技場 (R6.6供用開始)



愛知県春日井市朝宮公園陸上競技場 (R3.7供用開始)



愛知県岡崎市龍北総合運動場マルヤス岡崎龍北スタジアム (R2.7供用開始)

①愛知県知多郡美浜町運動公園陸上競技場
パラリンピック陸上競技のナショナルトレーニングセンターの指定を視野に公園入口～観覧スタンド～フィールドまで段差無しのバリアフリー仕様、インフィールド人工芝でやり投げやハンマー投げが可能（東海地方2例目）

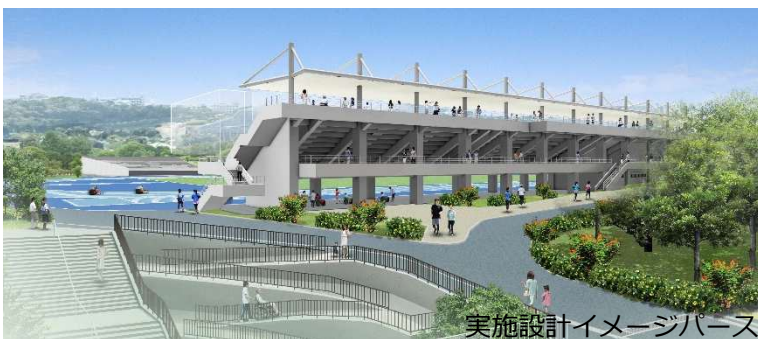
②愛知県春日井市朝宮公園陸上競技場
メインスタンド全面の金属屋根、インフィールド人工芝でやり投げやハンマー投げが可能（東海地方で初）、尾張東部地域唯一の公式記録の測定が可能な第3種公認競技場

③愛知県岡崎市龍北総合運動場マルヤス岡崎龍北スタジアム
設計、建設、維持管理、運営を一体で発注するPFI事業。JFLマルヤス岡崎がホームゲーム、アウトフレーム膜屋根（スタンド全面）や膜屋根に夜間照明設備の設置

- ・メインスタンドの大屋根設置に関して膜及び金属の先進事例を確認。
- ・フィールド内に関して天然芝及び人工芝の先進事例を確認。
- ・ユニバーサルデザインに関して施設へのアプローチから各諸室、メインスタンド、トラック等の動線を確認。
- ・観光交流拠点としての施設整備及び工夫点を確認。
- ・器具庫及び倉庫の適切な規模や、防災機能を確認。



3-3. 浦添市陸上競技場基本設計からの変更点について



- ①外部に閉鎖的なスタンドの壁を出来るだけ取り除きまちと人を繋ぐ開放された陸上競技場
- ②メインスタンド沿いの緑の散策道と緩衝帯による自然豊かな景観を創出し、国道330号側の良好な景観形成を図る
- ③スタンド全体に屋根を設け、日射遮蔽により外部熱負荷低減を図り、快適な観覧席を計画する
- ④浦添運動公園周辺の緑地を活かし、浦添市の高低差のある街並みや景観が損なわれないように、メインスタンドの屋根の高さを抑え、圧迫感を与えない形態や色彩等を計画し、周辺環境に配慮したファサードとする
- ⑤メインスタンドへの出入口から陸上競技場の天然芝のフィールドへ視界が通る計画とし、前面の園路から新体育館まで緑豊かにつながる奥行き感を演出する

3. 基本設計からの変更点

3-3. 浦添市陸上競技場基本設計からの変更点について



スポーレ春日井



岡崎龍北スタジアム



金武町陸上競技場

① スタンド全体に屋根を設けることで観覧席利用者へ配慮した計画



岡崎龍北スタジアム



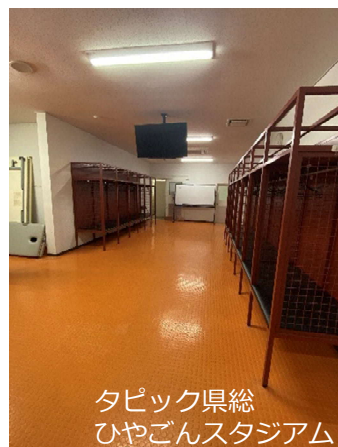
スポーレ春日井



岡崎龍北スタジアム

② 会議室や更衣室に移動間仕切りを設けてフレキシブルに利用している

3. 基本設計からの変更点



③サッカー等の利用を配慮してスポーツロッカーを設けている



④倉庫は天井高さを確保、高さが必要な為、建具はシャッターで計画

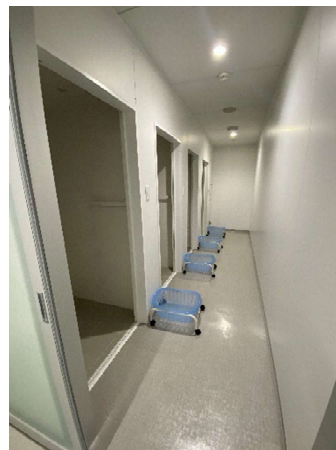
3. 基本設計からの変更点



美浜町運動公園陸上競技場



美浜町運動公園陸上競技場



岡崎龍北スタジアム



スポーレ春日井

⑤シャワーユニットを設けている(一般・車いす使用者用)



岡崎龍北スタジアム



スポーレ春日井



岡崎龍北スタジアム

⑥屋根を利用して照明を計画

⑦外周フェンス